

4. 調査項目

施設属性および後発医薬品の使用状況について調査した。

図表 1 調査項目

区分	内容
様式1(施設調査票)	<ul style="list-style-type: none">・ 所在地、組織形態、職員数、調剤基本料の種類、基準調剤加算の有無・ 主な処方せん発行医療機関および当該医療機関に係る処方せん割合・ 1ヶ月の取り扱い処方せん枚数および「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がある処方せん枚数、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数、後発医薬品情報提供料を算定した処方せん枚数・ 後発医薬品への対応状況（「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等がなかった場合の対応、後発医薬品への変更に関する患者さんに対する平均説明時間等）・ 後発医薬品へ変更した場合の銘柄等情報の医療機関への情報提供の方法、頻度、医療機関から受けた要望等・ 後発医薬品の備蓄状況・ 後発医薬品の使用促進策に関する問題点、課題等
様式2(後発医薬品調剤情報票)	<ul style="list-style-type: none">・ 処方せんへの記載銘柄に基づき調剤した場合の薬剤料および実際に調剤した（後発医薬品を含む）薬剤料

5. 結果

(1) 回収の状況

様式1（施設調査票）の有効回収数は635であり、回収率は63.5%であった。このうち、10/23～29の期間内に後発医薬品へ変更した保険薬局（様式2（後発医薬品調剤情報票）を記入した薬局）は177施設であった。

また、様式2（後発医薬品調剤情報票）に記載されていた処方せんの数（10/23～29に、「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等があり、実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数）は、1,032であった。

図表 2 回収の状況

調査票	有効回収数	回収率
保険薬局数（様式1）	635	63.5%
様式2に記載された処方せん枚数（177薬局分）	1,032	—

※ 白票、記載銘柄により調剤した場合の処方せんの薬剤料が後発医薬品を調剤した場合の薬剤料以上の点数である処方せん枚数、様式1と突合不能な票を除いたものを有効回収数とした。